

ホストタウン締結や、関連の交流に関するJICAの取組み一覧

* 20191127

地域	国	市町村	JICAとの関連（マッチングの経緯、事業との関係、今後の予定等）
東南アジア	ベトナム	北海道釧路市	交流計画の中にJICA草の根技術協力事業が明記。現地でのジャパンフェスティバルへの出展等が行われている。
東南アジア	ベトナム	東京都国分寺市	JICA事業の研修員受入れもきっかけの1つ。
東南アジア	カンボジア	徳島県	元JICA青年海外協力隊員で、現在もカンボジア水泳連盟に所属している生山氏が直接的に関与。なお、徳島商業高校が2013年より草の根技術協力事業を活用し、カンボジアの学校と同国の特産物を利用したお土産共同開発プロジェクトを実施。
東南アジア	カンボジア	福岡県北九州市	北九州市（市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進の三浦室長、藤本次長、東京オリンピック・パラリンピック担当の岡本係長）は、2018年10月にカンボジアを訪問、事務所次長と面談し、プノンベンと姉妹都市協定を締結している。の上下水道局は、カンボジアの上下水道分野のJICA支援に長年協力しており、また北九州市はプノンベンと姉妹都市協定を締結している。
東南アジア	インドネシア	熊本県	熊本県は2016年11月にインドネシア・バリ州との間でMOU（国際交流の促進に関する覚書）締結し、農畜産業分野における交流を開始。2018年度に農業分野の草の根技術協力が採択され、関係深化を期待。
東南アジア	ミャンマー	宮崎県延岡市	延岡・ミャンマー友好会を通じて双方の関係が深化。ミャンマー日本センター(MJC)との関わりがあり、2016年11月には交流の拠点となる「ノベオカフェ」がマンダレー（MJCマンダレー同窓会施設内）にオープン。2019年6月に柔道男子代表チームが同市で合宿。
東南アジア	ラオス	福島県飯館村	飯館村とラオス・ドンニヤイ村との2009年からの交流をきっかけに、2017年に復興「ありがとう」ホストタウン締結。2019年8月にはNPCラオス（パラ水泳チーム）の事前合宿協定に調印、2019年9月には合宿を実施した。また、9月21日～23日のIPC公認大会であるジャパンパラ水泳大会にパラ水泳選手2名が出場し、好成績を納めている。これらの活動について、JICA草の根技術協力で障害者スポーツ事業を実施中のADDPがサポートを行っている。
東南アジア	ラオス	三重県伊勢市	伊勢市は共生社会ホストタウンへの登録を目指す中、ADDPのラオスにおけるJICA草の根技術協力事業障害者スポーツ事業を知り、インクルーシブ陸上の取り組みに感銘を受け同国を誘致。2019年6月にラオス選手団（パラ陸上チーム）の事前合宿協定に調印、その後7月25日から8月3日まで第1回パラ陸上強化合宿を実施した。ラオスのパラ陸上選手は8月2日の近畿アンリミテッドパラ陸上大会にも出場した。これらの活動についてADDPが継続的にサポートを行っている。
南アジア	スリランカ	千葉県山武市	山武市は、里子里親交流をきっかけとしてオリパラでのホストタウン構想を立て、2014年、スリランカから帰国した協力隊OGが山武市役所を採用、市長のスリランカ出張への同行、同国との交流活動を担当するなど貢献。2014年12月、市長とスリランカオリンピック委員会会長との間でホストタウンとなることに関する覚書を締結。2016年1月のホストタウン第1次登録で正式に決定。
南アジア	ネパール	長野県駒ヶ根市	駒ヶ根市は、青年海外協力隊の活動の支援や地元の中学生の派遣を通じて、ネパールと交流。2013年4月18日、山岳観光都市という共通点から、ネパール・ポカラ市と国際協力友好都市協定を締結。現在、駒ヶ根市のネパール交流市民の会により、草の根技術協力（地域活性化特別枠）による母子保健プロジェクトを実施。駒ヶ根市役所のホストタウン担当者は元青年海外協力隊員（ネパール）。
中東・欧州	チュニジア	神奈川県横浜市	2019年6月にJICA（チュニジア事務所長他）が「アフリカとの一校一国」交流校（横浜市立もえぎ野小学校）を訪問して講演を実施。
中東・欧州	セルビア	新潟県柏崎市	2019年6月にJICA（バルカン事務所長他）が新潟県柏崎市役所を訪問し、セルビアについて講演を行った。
中東・欧州	セルビア	山口県防府市	2019年6月にJICA（バルカン事務所長）が防府市役所を訪問し、市長と面談を行った。
中東・欧州	トルコ	和歌山県串本町	2019年6月にトルコ事務所長が和歌山県串本町を訪問し、串本古座高校と町文化センターで講演を行った。
中東・欧州	サウジアラビア	愛媛県新居浜市	2019年6月にJICA（サウジアラビア首席駐在員他）が愛媛県新居浜市役所を訪問。同市は、サウジアラビアのウエイトリフティングチーム事前合宿誘致を目指してよりJICAにも支援を要請。
中東・欧州	モロッコ	岐阜県高山市	2019年3月に中東1課が岐阜県庁を訪問。今後連携の可能性あり。
アフリカ	ケニア	東京都目黒区	2018年5月、JICAがケニアのホストタウンである東京都目黒区を訪問し、JICA草の根事業スキームを紹介。
アフリカ	マダガスカル	岐阜県郡上市	現地派遣隊員（2017-2、ラグビー）の働きかけにより、2019年6月にマダガスカル女子ラグビーのナショナルチームが岐阜県郡上市遠征を実施。遠征に併せてJICAオフィシャルサポーターの高橋尚子氏をマダガスカルに派遣。遠征がきっかけとなりホストタウンのマッチングが実現。
アフリカ	ウガンダ	長野県立科町	2019年6月にJICA（ウガンダ事務所長他）が面談。出前講座や文化交流等の連携事業につき検討中。
アフリカ	ウガンダ	大阪府泉佐野市	2019年6月にJICA（ウガンダ事務所長他）が面談。出前講座や文化交流等の連携事業につき検討中。
アフリカ	タンザニア	山形県長井市	長年の交流から、ホストタウンに登録。JICAがタンザニアで開催支援している女子陸上競技会「Ladies First」の上位入賞者が同市で開催する長井マラソンに招待選手として参加。元マラソン選手のイカンガー氏がJICAタンザニア事務所広報アドバイザーとして本陸上競技会をサポート。JICA所長が長井市を訪問し、交流会・出前講座などに参加。内閣官房開催のホストタウンサミット（2019年2月）に事務所現地スタッフが参加。
アフリカ	南スーダン	群馬県前橋市	JICA南スーダン事務所が実施しているスポーツを通じた平和構築支援等 National Unity Day 事業を端緒とし、ホストタウンを締結。前橋市のホストタウン事業として、陸上選手等を本邦で長期トレーニングする事業を実施予定であり、日本大使館・JICAが側面支援。2019年7月には、前橋市、前橋国際大学、JICAが南スーダンに係る理解を深める市民向けセミナーを開催。
アフリカ	マラウイ	群馬県太田市	太田市在住者がJICA青年海外協力隊としてマラウイで活動していたことがきっかけとなりホストタウン締結。
アフリカ	ルワンダ	沖縄県内	2017年度ルワンダ研修員（障害者社会参加）が同国パラリンピック委員会に働きかけ、2018年度に沖縄県の支援で同委員会幹部が沖縄県内で事前調査（シットティングバレーボール競技）を実施。2019年9月にアフリカ予選を突破すれば県内自治体との事前キャンプ締結可能性大。
アフリカ	南アフリカ	東京都町田市	在京大使館が毎年行うネルソンマンデラデーの奉仕活動を町田市が受け入れていたことがきっかけでホストタウンに。2019年6月、町田市職員向け、町田市サポートボランティアに対して、南アフリカを紹介するセミナーを市と共催（南ア所長やABEイニシアティブ学生が登壇）。2020年もなんらかのイベントを行う見込み。
アフリカ	トーゴ	宮崎県日向市	在日トーゴ事務所と日向市の長年の関係からホストタウンに登録。両者をつなぐフォーカルパーソン（内閣官房オリ・パラ推進室）探しをトーゴのJICA専門家が側面支援。
アフリカ	トーゴ	宮崎県日向市	2017年7月に宮崎大学が主催したイベント「トーゴ共和国を知ろう！」に協力（セミナー講師、事業紹介パネル展示、協力隊活動写真展等）。
アフリカ	ザンビア	宮城県丸森町	丸森町耕野地区はJICA技プロの研修員受け入れや地域提案型草の根技術協力事業の参画を通じ、ザンビアとの関係性を強化。ザンビア事務所より耕野地区の方を内閣官房オリ・パラ推進室のフォーカルパーソンとして紹介したところ、丸森町長がホストタウン申請を行うことを快諾。7月には同町でのイベントにJICAザンビア事務所長等が参加し、支援。
アフリカ	エチオピア	茨城県笠間市	2019年6月にエチオピア事務所長が笠間市役所を訪問し、市長と面談を行った。
中南米	ドミニカ	鹿児島県和泊町	JICA九州から内閣官房オリパラ事務局に対し、ドミニカ国と鹿児島県和泊町（沖永良部島）のホストタウン締結に係る情報提供（2019年2月にホストタウン決定）
中南米	ベリーズ	千葉県横芝光町	2018年11月、TIC所長と千葉県国際協力推進員が千葉県横芝光町（ベリーズのホストタウン）役場を訪問し、連携企画について打ち合わせ。横芝光町には、ベリーズの名誉領事が居住していることもあり、ベリーズ支所の橋口支所長が赴任前・中で双方のマッチングをお手伝いされたことが大きいと思われる。
中南米	コスタリカ	長野県松川町	これまで長らく生活改善事業でお世話になっていた町であり、生活改善普及員の方々との交流が実を結んだと思われる。
中南米	ドミニカ共和国	千葉県松戸市	松戸市の梨をドミニカにという大使の発案から草の根協力の案件形成実施中。ソフトボール、バレーボール、テコンドーのホストタウン。
中南米	ドミニカ共和国	広島県北広島町	派遣中教育分野ボランティアが、指導している学校の生徒に呼び掛けて千羽鶴を作成、2019年7月寄贈予定。野球、柔道のホストタウン
中南米	ホンジュラス	群馬県片品村	ニカラグア事務所の高砂次長が片品村への取り繋ぎ、サッカーでの参加可能性がありそうな国に特に興味があることから、片品村と駐日ホンジュラス大使館でコンタクトを取り始めているとの情報あり。
中南米	ベネズエラ	長野県駒ヶ根市	「JICA青年海外協力隊訓練所」がある縁からホストタウン
中南米	パナマ	愛媛県今治市	姉妹都市の交流からホストタウンに。2018年パナマ支所長が今治市を表敬訪問。2018年度よりパナマ支所の協力によりパナマの子どもたちがタオルデザイン展に作品を応募する交流が始まった。
中南米	ニカラグア	群馬県甘楽町	甘楽町には寺小屋（課題別研修等を受け入れ実績あり）が所在。その関係から事務所の努力もあり、ホストタウンの受入れを進めたと思われる。
中南米	アルゼンチン	茨城県境町	2018年12月に境町副町長がJICA筑波を訪問し、オリパラ関連での協力を要請（通訳ボランティアとしての協力隊経験者の紹介）。
大洋州	ミクロネシア	島根県海士町	2019年8月に鈴木オリパラ大臣が現地視察（海士町長、JICAからの出向者も同行）
大洋州	ソロモン	沖縄県八重瀬町	ソロモン派遣中の青年海外協力隊員（水泳）が仲介し、競泳事前キャンプ協定締結（2017年5月）
大洋州	パラオ	茨城県常陸大宮市	2016年にホストタウン締結。2018年6月に同市で事前キャンプを実施（陸上・水泳・柔道）した際に青年海外協力隊・陸上隊員が帯同した。